

- 1 評価項目、評価内容及び配点は、下表のとおりとし、各選定委員が採点する。
- 2 辞退者及び失格者を除いた企画提案者のうち、最高点と評価した選定委員が最も多かった企画提案者を契約者の候補（以下「契約候補者」という。）として特定する。
- 3 2に該当する企画提案者が複数あった場合は、各選定委員の評点合計の平均（以下「総合点」という。）が最も高い企画提案者を契約候補者とする。
- 4 3に該当する企画提案者が複数あった場合は、見積金額が最も安価であった企画提案者を契約候補者とする。
- 5 2、3及び4に関わらず総合点が50点未満の場合は、当該企画提案者を契約候補者として特定しない。企画提案者が1者の場合も同様とする。

(評価項目及び各項目の配点)

(満点100点)

評価項目			評価内容	配点
1	業務内容の理解度	(1)	本業務の目的、デジタルスキップの役割、県の ICT 環境、研修対象者の特性を踏まえた提案となっているか。	1 0
2	企画提案の優位性	(2)	仕様書 7（イ）の Power Automate Desktop 研修、Power Automate（クラウド版）研修、Power Query 研修、Excel マクロ研修、生成 AI（Copilot）活用研修について、具体的な演習内容、業務活用例、受講者の到達イメージが示されているか。	2 0
		(3)	仕様書 7（イ）の各研修テーマについて、研修全体の進行構成が明確で、無理なく学習効果が得られる内容となっているか。	1 0
		(4)	本県の M365ライセンス、ネットワーク環境及びセキュリティ上の制約を踏まえ、実際に県職員の利用環境で実施可能な研修内容となっているか。	1 0
		(5)	生成 AI（Copilot）活用研修について、庁内業務における具体的な活用シーン、出力内容の検証、個人情報・機密情報の取扱い等を踏まえた実践的な提案となっているか。	1 0
		(6)	提案された研修資料・演習教材の内容が、単なる機能説明にとどまらず、業務への適用方法、Before／After、業務フロー、活用イメージ等を含み研修後も実務で参照できる内容となっているか。	1 5
		3	企画提案の実施可能性	(7)
(8)	受講者が研修後に到達すべき状態や実務での活用場面を明確にした上で、事前課題、アンケート、研修結果報告等により研修効果を把握・分析し、今後の改善につなげる具体的な方法が提案されているか			5
(9)	講師・補助者が必要な専門知識、研修経験、自治体職員向け研修への理解を有し、各回30名程度の対面ハンズオン研修を安定的に実施できる体制となっているか。			1 0
(10)	業務内容に見合った適切な経費であるか。			5
合計				1 0 0

〔別紙２〕
(選定委員)

選定委員は、次の５名とする。

所属	職名	備考
栃木県経営管理部行政改革 ICT 推進課	課長	委員長
栃木県経営管理部行政改革 ICT 推進課	課長補佐（総括）	副委員長
栃木県経営管理部行政改革 ICT 推進課	課長補佐	
栃木県経営管理部人事課	副主幹	
栃木県総合政策部デジタル戦略課	副主幹	